

21 年産夏秋野菜の生産・出荷状況について

全国農業協同組合連合会等

平成21年産夏秋野菜の出荷見通しの概要

1. 夏秋キャベツ(7～10月)

平成21年6月1日現在

	当初計画			平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	トン									
ホクレン	25,891	94%	92%	3月下旬～6月上旬	5月上旬～7月中旬	7月上旬～10月下旬	6月下旬	平年並み	7月下旬～9月上旬	平年並み
全農群馬	183,820	103%	104%	3月上旬～6月中旬	4月上旬～7月下旬	6月下旬～10月下旬	6月10日前後	やや遅れ気味	8～9月	平年並み
全農長野	43,530	105%	113%	3月上旬～7月中旬	4月中旬～8月上旬	7月上旬～10月下旬		やや遅れ気味	7月～9月	平年並み
その他	43,758									
合計	296,999	102%	105%							

(注)出荷量の計画は2月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19、20年実績比。

コメント

全体の作付面積については、ほぼ前年並みとなった模様。

生育状況については、北海道で一部低温の影響が見られるものの、群馬など生育は概ね順調。

現時点の群馬の出荷見通しの前年実績比は101%。全体でも前年並みの出荷が見込まれる。

2. 夏はくさい(7～9月)

平成21年6月1日現在

	当初計画			平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	トン									
ホクレン	10,793	102%	105%	3月下旬～7月上旬	5月上旬～5月下旬	6月下旬～10月上旬	6月中旬	平年並み	8月～9月	平年並み
全農群馬	3,130	98%	100%	2月上旬～7月中旬	3月中旬～8月中旬	5月中旬～10月下旬	5月下旬		6月中旬～7月	平年並み
全農長野	100,800	102%	101%	4月上旬～6月中旬	4月中旬～8月下旬	6月上旬～10月下旬		前年並み	7月中旬～10月	平年並み
その他	0									
合計	114,723	102%	101%							

(注)出荷量の計画は2月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19、20年実績比。

コメント

全体の作付面積については、ほぼ前年並みとなった模様。

生育状況については、長野を中心に順調な生育。長野は7月中旬～下旬にかけて最初の山となる。

現時点の長野の出荷見通しの前年実績比は104%。全体でも平年よりやや多く前年を上回る見通し。

3. 夏秋レタス(6～10月)

平成21年6月1日現在

	当初計画			平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	20年比	19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
	トン									
全農岩手	6,340	104%	98%	3月上旬～7月下旬	4月上旬～8月中旬	5月中旬～10月上旬			6月下旬～7月上旬	平年並み
全農群馬	17,385	101%	95%	1月下旬～7月下旬	3月下旬～8月上旬	5月中旬～10月下旬	4月中旬	前年より若干早い	6月～7月	平年並み
全農長野	133,900	101%	100%	2月上旬～8月中旬	3月中旬～9月中旬	5月上旬～10月下旬		高冷地は前年より早い	6月下旬～9月下旬	平年並み
その他	19,479									
合計	177,104	103%	100%							

(注)出荷量の計画は2月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19,20年実績比。

コメント

長野の近年の作付け動向は横ばい推移である。今年もほぼ前年並みの作付けとなった模様。全体でも前年並み。

生育は概ね順調で平年並みの生育状況。

現時点の長野の出荷見通しの前年実績比は104%。前年が平年をやや下回る出荷量だったこともあり前年をやや上回る見通し。全体でも同様。

ただし、夏のレタスは定植から収穫までの期間が短く、出荷状況は今後の気象状況に大きく影響をうける。

4. 夏だいこん(7～9月)

平成21年6月1日現在

	当初計画			平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画	20年比	19年比	播種時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較	
	トン									
ホクレン	63,662	103%	99%	4月中旬～8月上旬		6月下旬～10月下旬	6月下旬		8月下旬～9月	平年並み
全農青森	19,150	101%	95%	5月上旬～7月上旬		7月上旬～11月中旬	5月21日	平年並み	6月中旬～下旬	平年並み
全農岐阜	6,520	115%	124%	4月下旬～8月上旬		7月下旬～10月中旬	6月16日ごろ	前年並み	7月上旬	
その他	15,667									
合計	104,999	104%	97%							

(注)出荷量の計画は3月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19,20年実績比。

コメント

ホクレンの作付面積はやや増加を見込むが、北海道全体の作付面積は横ばいを見込む。全体ではほぼ前年並みとなる模様。

生育は概ね順調である。

現時点のホクレンの出荷見通しの前年実績比は103%。平年並みを見込み、前年をやや上回る見通し。全体でも同様。

5. 秋にんじん(8~10月)

平成21年6月1日現在

	当初計画			平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画 トン	20年比	19年比	播種時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較	
ホクレン	89,070	107%	102%	4月上旬~7月中旬	7月中旬~10月下旬	7月下旬		8月下旬~10月上旬	平年並み	
全農青森	4,650	104%	105%	4月中旬~7月中旬	8月上旬~10月下旬	6月20日前後		6月下旬~7月下旬	平年並み	
その他	51,988									
合計	145,708	108%	105%							

(注)出荷量の計画は3月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19、20年比は19、20年実績比。

コメント

全体ではほぼ前年並みの作付けとなる模様。

生育は概ね順調だが、早魘の影響が懸念される。

現時点のホクレンの出荷見通しの前年実績比は105%。少なめだった前年実績より多く平年並みを見込む。全体でも同様。

6. たまねぎ(4~10月)

平成21年6月1日現在

	当初計画			平年の生育ステージ			今年の出荷見通し(時期)			
	出荷量						出荷開始		ピークの時期	
	計画 トン		19年比	播種時期	定植時期	収穫時期	時期	平年との比較	時期	平年との比較
ホクレン	208,640		99%	2月下旬~3月下旬	4月中旬~5月下旬	8月中旬~10月下旬	8月盆前後	平年並み	9-4(10月)	平年並み
全農兵庫	71,549		97%	9月中旬~10月中旬	11月上旬~2月下旬	5月上旬~6月下旬	4月下旬	平年よりやや早い	5-10(7,8月)	平年並み
佐賀県農協	91,126		111%	9月上旬~9月下旬	11月中旬~12月中旬	3月下旬~6月中旬	3月上旬	やや遅い	4-9(5-8月)	平年並み
その他	147,071									
合計	518,386		102%							

(注)出荷量の計画は前年9月に作成した「当初計画」の県共販計の数字。出荷量については順調出荷を見込んで作成。19年比は19年実績比。

コメント

ホクレンの作付け面積は、平成19年以降横ばい推移。全体でもほぼ前年並みの作付けとなった模様。

北海道の生育状況については、低温、早魘の影響が懸念される。

ホクレンの出荷見通しについて、現時点での予測は困難だが、低温や早魘の影響で平年作となれば、豊作基調だった前年をやや下回る見込みとなる。

兵庫は小玉傾向。佐賀は6月以降の出荷分については概ね順調。

現時点の6月から10月の出荷見通しについては、全体ではほぼ前年並みを見込む。(前年実績比:ホクレン101%、兵庫96%、佐賀104%)

夏秋キャベツの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：全農群馬県本部

1. 作付面積と出荷見通し

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量 (トン)				
		合計	7月	8月	9月	10月
本年	2,865	180,000	39,000	52,000	53,000	36,000
前年実績比 (%)	100	101	108	97	98	103

(注) 県共販計のグリーンボールを含むキャベツの出荷見通し

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

前年並み。

(2) 作付け時期

4月中旬より定植始まり、6月4日現在で約50%の定植率で前年に比べ若干早めの推移。

(3) 初期生育状況

雨が少ないものの概ね順調。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

概ね順調。前年並み。

(2) 出荷開始状況

6月10日に初出荷の予定。6月下旬より本格出荷。

(3) 出荷ピークの状況

8月下旬～9月上旬にかけて出荷のピークを迎える。

(4) 出荷量予想

前年並みを計画。

4. 販売対策

Gルート販売の拡大・充実

消費宣伝（高原野菜フェア・8月2日孀恋キャベツの日イベント等）など

5. 県内主産地における動向

孀恋村農協：生育状況は概ね順調。前年より出荷量増の見込み。

1750万ケースを目標にGルート販売の拡大・充実を図る。

夏はくさいの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：全農長野県本部

1. 作付面積と出荷見通し

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量（トン）			
		合計	7月	8月	9月
本年	945	93,000	27,000	26,000	40,000
前年実績比（%）	105	104	104	106	103

（注）県共販計のはくさいの出荷見通し

2. 作付け動向と初期生育状況

（1）作付け動向

7・8月は計画生産の徹底を促し、9・10月は増加傾向にある。

（2）作付け時期

高冷地地帯の定植作業が開始する4月は、ほ場状態が良好であったため、極めて順調に行われた。昨年比では1週間ほど進んだ。（昨年状態悪かった）

（3）初期生育状況

4月中旬までは気温は高め、降雨も適度に入る。5月以降は順調に定植作業が行われている。

3. 生育状況・出荷見通し

（1）生育状況

5月は、高温と低温の寒暖差が大きい状況であった。作柄は平年並み。

（2）出荷開始状況

ほぼ昨年並み。

（3）出荷ピークの状況

7月中旬～下旬に高冷地の出荷が出揃い最初の山となる。9月以降は秋作（二毛作）として下旬に向けて増加し、10月まで続く。秋作の作付け意欲はある。

（4）出荷量予想

二毛作の作付け意欲あるため、前年を上回る見通し。平年との比較ではやや増。

4. 販売対策

販売対策として、漬物加工向け契約的取引の拡大と夏場の消費拡大対策が課題であるため、店頭集中販売促進（試食宣伝等によるメニュー提案）、食品メーカーとのタイアップ企画、一般消費者向け懸賞キャンペーン企画、長野県農産物フェアなど消費喚起を促す企画を消費地において積極的に実施する予定である。

夏秋レタスの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：全農長野県本部

1. 作付面積と出荷見通し

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量（トン）					
		合計	6月	7月	8月	9月	10月
本年	3,361	137,500	24,000	34,700	33,300	35,200	10,300
前年実績比(%)	102	104	116	98	103	104	102

(注) 県共販計のリーフ系レタスを含むレタスの出荷見通し

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

前年並み、近年は横ばい推移

(2) 作付け時期

高冷地地帯の定植作業が開始する4月は、ほ場状態が良好であったため、極めて順調に行われた。昨年比では1週間ほど進んだ。(去年は状態悪かった)

(3) 初期生育状況

4月中旬までは気温は高め、降雨も適度に入る。4月下旬に凍霜害の被害を受けたが、定植面積は少ない。5月以降は順調に定植作業が行われている。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

5月は、高温と低温の寒暖差が大きい状況であった。作柄は平年並み。

(2) 出荷開始状況

高冷地は前年より早い開始、数量も前年を上回っている。大玉傾向で箱数が伸びている。一部で被覆した作型と露地作型で生育差が出ている。

(3) 出荷ピークの状況

6月中旬から非結球が最初のピーク、6月下旬から結球レタスの最初のピークか。全体としては、6月下旬から9月下旬までが最盛期となる。7月は気象災害が無ければ、安定した出荷が続く見込み。

(4) 出荷量予想

夏秋期に安定した出荷量が確保されれば、昨年を上回る見通しだが、6月の梅雨、夏の高温の度合い、秋雨、台風の上陸など気象状況で作柄・出荷量が一変する最も厳しい時期の生産のため予想は難しい。特にレタスは温度や降水量で作柄変動が大きい。

4. 販売対策

販売対策として、出荷最盛期の店頭集中販売促進（試食宣伝等によるメニュー提案）、食品メーカーとのタイアップ企画、一般消費者向け懸賞キャンペーン企画、長野県農産物フェアなど消費喚起を促す企画を消費地において積極的に実施する予定である。

夏だいこんの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：ホクレン

1. 作付面積と出荷見通し

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量（トン）			
		合計	7月	8月	9月
本年	1,531	63,500	17,700	21,800	24,000
前年実績比（%）	101	103	102	102	106

（注）県共販計（ホクレン扱）のだいこんの出荷見通し

※面積はホクレン共販（推計）

2. 作付け動向と初期生育状況

（1）作付け動向

猛暑による需要低迷の影響等により近年販売状況が厳しいことから全道の作付面積は横ばい傾向にあるものの共販扱いはやや増加の見込み。

（2）作付け時期

播種は概ね平年どおり開始されたが、降雨等の天候不順により播種作業が遅れている地区もある。

（3）初期生育状況

概ね順調な生育となっている。

3. 生育状況・出荷見通し

（1）生育状況

現在時点では総じて生育は順調だが、5月下旬以降の天候不順により播種が遅れている地区もある。作柄はほぼ平年並み。

（2）出荷開始状況

道外出荷は6月下旬頃開始見込み。

（3）出荷ピークの状況

出荷ピーク：8月下旬～9月（例年と同時期の見込み）

（4）出荷量予想

出荷見通しのおおりに（6/4時点見込み数量）

4. 販売対策

販売環境・供給量・価格動向等に応じた販売対策を講じる。

消費拡大については野菜全体の消費宣伝の取り組みとして継続実施。

5. 県内主産地における動向

（1）後志地区

播種定植は例年通り進んでおり、生育は順調で作柄は平年並みの見込み。

（2）上川地区

5月中旬頃より播種開始。地域によっては降雨により播種作業が遅れているが、発芽状況は良く、生育は比較的順調である。

（3）十勝地区

一部地区で生育遅れが見られるものの、播種・生育とも概ね順調に推移している。

秋にんじんの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月4日時点）

出荷団体名：ホクレン

1. 作付面積と出荷見通し

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量（トン）			
		合計	8月	9月	10月
本年		69,600	20,000	24,600	25,000
前年実績比（%）		105	106	105	103

（注）県共販計（ホクレン扱）のにんじんの出荷見通し

2. 作付け動向と初期生育状況

(1) 作付け動向

販売状況は毎年厳しいものの、作付面積はほぼ前年並みの見込み。
全道集約 4,746ha（前年比 100.3%） ※5/20 現在

(2) 作付け時期

播種は4月中旬頃より順次順調に進んでいるが、降雨の影響から播種作業が遅れている地区もある。

(3) 初期生育状況

概ね順調のようだが、早魃により発芽生育に影響が出ている地区がある。

3. 生育状況・出荷見通し

(1) 生育状況

4月下旬～5月上旬にかけての早魃により生育遅れが懸念される地区がある。
また、風害により播き直しをした圃場も一部にある。

(2) 出荷開始状況

7月下旬開始見込み

(3) 出荷ピークの状況

出荷ピーク：8月下旬～10月上旬（平年同時期）

(4) 出荷量予想

出荷見通し数量のとおり（6/4 時点見込み数量）

4. 販売対策

(1) 夏場における品質維持・高温対策

(2) 盆明け後の集中出荷回避に向けた平準出荷と、市況低迷時における優品の出荷停止および2L規格以上の出荷量調整等による出荷誘導を図る。

(3) 消費拡大については野菜全体の消費宣伝の取り組みとして継続実施

5. 県内主産地における動向

(1) 後志地区

播種定植は例年通り進んでおり、生育は順調で作柄は平年並みの見込み。

(2) 上川地区

順調な融雪により播種作業は順調に進んだが、その後の早魃により発芽不良が目立つ。出荷開始は概ね予定どおりの見込みだが、早魃傾向が続けば収量の低下が懸念される。

(3) 網走地区

播種は概ね平年時期に開始されたが、5月下旬からの降雨の影響から播種作業が後ズレ傾向となっている。また、風害により播き直しをした圃場も一部ある。

(4) 十勝地区

若干早魃傾向であり生育が遅れ気味である。

たまねぎの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年6月1日時点）

出荷団体名： ホクレン

1. 作付面積と出荷見通し（平成21年2月20日調査分）

	作付面積 (ha)	出荷見通し数量（トン）					
		合計	6月	7月	8月	9月	10月
本年	12,254	143,300	0	0	20,860	51,030	58,330
前年実績比(%)	100%	101%	0	0	105%	106%	96%

（注）県共販計のたまねぎの出荷見通し

2. 作付け動向と初期生育状況

（1）作付け動向

H19年以降、面積はほぼ横ばいとなっている。

（2）作付け時期

長雨等もなく、例年並の時期に定植がほぼ終了となった。

（3）初期生育状況

5月始めの連休明け以降も気温が低い日が多く、地区によっては降雪や降霜があったことや、降雨量が少なく干ばつ傾向であることの影響が懸念される。

3. 生育状況・出荷見通し

（1）生育状況

前年と比較すると、定植後の初期生育段階での天候推移が、旱魃や低温傾向である為、定植後の活着にも影響が懸念される。

（2）出荷開始状況

例年通り、盆前後からの出荷開始となる見込み。

（3）出荷ピークの状況

出荷ピークは例年通り10月頃を見込んでいる。

（4）出荷量予想

現状は作柄の見極めが難しいが、面積が横ばいであることを踏まえると、平年作であれば豊作だった昨年を下回る出荷量が見込まれる。

4. 販売対策

（1）今後、全道の部会組織で検討予定

5. 県内主産地における動向

（1）現在動向を集約中